

上高津貝塚ふるさと歴史の広場

ここでは、じょう文時代の生活が学べます。



上高津かいつかには、たてあな式住きよというむかしの家がありました。とてもせまかったので、むかしの人は大変だったと思いました。



春「はまぐり」や「やまとしじみ」を取り食べていた。いらなくなったからはそうしょくひんにした。「うでわなど」夏魚「すずきやまはぜ」や貝をたべ海草をにつめてしおをとった。

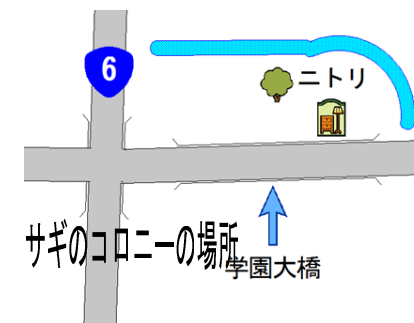


むらのひとたちは、たてあな式住きよでくらしながらいをもりもり食べていたと知って昔は、貝がいっぱいあったということも分かりました。

学園大橋のちかくの鳥

白い鳥が集まっています。

サギのしゅるいはほとんどが、コサギで、中には、頭がオレンジ色をしたアマサギそして、コロニーの中で、一回り体が大きな中さぎもすこしまじっているようです。



葉っぱが、ふんがいて出来なくかたいていて、たくさんかたえとえいそうが出来なくなってしまうらしいです。



車で通っているだけでなんだか、わからなかったけど、近くで調べたり、本で調べたりしたらちょっとサギのことがわかってうれしかったです。

感想

土浦市には、まだまだ、れきしある建物や、場所がたくさんあることが分かったので、ほかにも調べてみたいと思いました。

